

第39回 評議員会（2016年5月21日開催）報告

於：朝日生命大手町ビル 24F

1：趣旨

日本ユネスコ協会連盟(以下日ユ)の第39回評議員会に九州ブロック選出青年評議員として出席した件について個人の責任の下報告を行う。

内容については当日の資料及び記憶に基づくものであり、数字等の正確性については必ずしも保証するものではないことを明記する。

2：今回の主な内容

- ・加盟証書授与式（郡山次世代ユネスコ協会/北広島ユネスコ協会/ICU ユネスコクラブ）
- ・第38回評議員会議事要録の承認
- ・2016年1月～5月の事業報告及び今後の日程(案)
- ・組織・活動委員会からの報告
 - ①70周年ビジョン部会
 - ②定款・諸規定部会
 - ③青年活動部会
- ・2016年度事業計画書及び予算書について
- ・遺贈について
- ・熊本地震への対応について
- ・その他
- ・役員・評議員情報交換

3：個人的に印象に残ったこと、及び感想

- 加盟証書授与式

北広島ユネスコ協会は北海道の協会とのこと（地名）。
広島の平和記念公園の平和の灯を分けてもらっており、消さないようにしている。
- 2016年1月～5月の事業報告及び今後の日程(案)
 - 青少年ユネスコ活動助成については応募が多数集まり、厳正な審査が行われた模様。
 - カンボジアで新たなCLC(スレ・クパーブ寺子屋)が開所されたとのこと。
こちらでは以下3つのクラスを運営していく。
 - 1:成人に文字や読み書きを教える識字クラス
 - 2:何らかの理由で学校に行けなかった子どもの復学支援クラス
 - 3:職能支援クラス
- 組織・活動委員会からの報告
 - 70周年ビジョン部会

ビジョンについては6/25に開催予定の総会で承認を得るために目下会議を重ねているとのこと。
2017年の総会に向けて中期計画を練っていく上で、計画立案の重要性を確認し、実施後のレビューが必要不可欠であることが確認されたとのこと

文責：大分県ユネスコ協会連盟 佐藤隆士
(九州ブロック選出評議員)

- 定款諸規定の変更について
 会員に関する規定について主な変更点の説明がなされた。
 こういった内容は地元で活動している会員たちにとって重要な事になってくるので、評議員が
 地元を持ち帰って伝えて周知を図る必要があると感じる。
- 青少年関連
 - ◆ 国際協力系フェスタへの出展について
 昨年も行なったグローバルフェスタ JAPAN の経験を活かしてリーダー層の育成と仲間づく
 りを目指していくことが目的。
 計画して終わりではなく、活性化を狙うためのものであると説明された。
 - ◆ 全国的青年連絡組織の情報収集への協力をお願いについて
 現在青年は 500 名位となっているが、総会を開くと実際には 50 名くらいしか集まらないの
 が現状。
 実態把握ができていないことが課題のため、各地の協会にも協力を依頼し、情報収集を行
 なっていくつもりである旨説明があった。
- 遺贈について
 資金確保の手立てとして立案された。
 遺贈とは遺言に従い相続人や相続人以外の方に無償で財産を渡すやり方であり、日ユはこれまでも 3
 件の遺贈を受け入れてきたとのこと。
 今後、ホームページや SNS で呼びかけを行う予定であり、地元で遺贈を希望している方がいたらお
 知らせして欲しいとのこと。
 また、電通の協力を得て今後わかりやすいパンフレットの作成にも着手する予定があると説明があ
 った。
- 熊本地震への対応について
 震災から一ヶ月が過ぎ、命に関わる緊急的な支援は落ち着いた状況になりこれからの復興支援こそ
 がユネスコの役割となる。
 寄付については専用の口座開設を進めているとのこと。
- 所感
 過去の事業に対する振り返りが不足していたという件が大変心に残った。
 事業改善の 3 か年計画について、2012 年の第 26 回評議員会報告で取り上げているように評価の方法
 についてはかねてより問いかけていただけに残念であると感じた。
 今後より良い活動を作っていくためにも過去の反省を活かすということは大人だけでなく青年にと
 っても非常に重要であると感じ、データベース化など見える化をしていく必要があると感じる。
 評議員会では予算等の話を聞く機会は多くあるが、議論するレベルまでには全容をつかめていない
 ことも実感する。
 青年の事業についてはフェスタへの参加など様々施策が組まれていくが、情報の収集と伝達をいか
 に充実させていくかがポイントとなると思われる。

以上

文責：大分県ユネスコ協会連盟 佐藤隆士
 (九州ブロック選出評議員)